



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月12日

上場会社名 チムニー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3178 URL <https://www.chimney.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 茨田 篤司
 問合せ先責任者(役職名) 取締役常務執行役員経財担当 (氏名) 阿部 真琴 (TEL) 03(5839)2600
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	6,647	4.4	96	5.0	95	△16.2	67	5.8
2026年3月期第1四半期	6,367	△1.3	92	△65.3	113	△61.6	63	△78.1

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 80百万円(△15.1%) 2026年3月期第1四半期 95百万円(△68.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	3.48	—
2026年3月期第1四半期	3.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	15,641	6,388	40.8
2026年3月期	15,874	6,404	40.3

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 6,388百万円 2026年3月期 6,404百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	2.00	—	3.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第2四半期(累計)	13,500	5.8	60	8.5	80	△8.4	40	△60.7
通期	28,000	6.2	500	1.8	550	2.3	250	△50.5

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2027年3月期1Q	19,340,800株	2026年3月期	19,340,800株
2027年3月期1Q	47,895株	2026年3月期	47,895株
2027年3月期1Q	19,292,905株	2026年3月期1Q	19,292,905株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料P3「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、賃上げの動きなどにより景気は緩やかな回復基調で推移しましたが、継続的な物価上昇により、個人消費は伸び悩む状況が続いております。また、中東情勢の緊迫化に伴う資源価格の高騰などを背景に先行きは不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、外国人観光客の増加に伴い回復の動きが続いているものの、継続的な物価上昇による消費者の節約志向・選別志向は依然として高止まりし、原材料費、光熱費、人件費、建築費などの上昇も相まって、事業を取り巻く環境は厳しいものになっております。

このような状況のなか、当社グループは「お客様からありがとうと言われる企業になろう」という企業理念のもと、当社グループの店舗がお客様から選ばれる店舗となり、安全・安心と楽しさを提供することでお客様に元氣になっていただけるよう取り組んでまいりました。

足元の取組みとしては、本年度のスローガンとして「変える勇氣、変わる覚悟。全員で創る地域一番店」を掲げ、①店舗収益向上戦略、②専門業態の拡大と新規出店・業態転換、③多様な人財(*1)の活躍に注力しております。

飲食事業では、①店舗収益向上戦略として、のどごしの限界突破「牡蠣フライ×GINONフェア」、生ビールに合う料理が大集合「生ビール祭」を開催し、からあげグランプリ金賞受賞3回の旨塩からあげや、料理家の栗原心平氏とのコラボメニューなどをご用意することで、価値戦略と価格戦略の両輪で売上・客数の増加に努めました。②専門業態の拡大と新規出店・業態転換としては、4月に、さかな酒場 魚星 潮見駅前店を出店しました。また、食事を中心とし、お酒も楽しめる店舗の推進や、選別志向に対応した高付加価値業態「火入れ みつ囲」などの展開をすすめております。③多様な人財の活躍では、外国籍社員、キャリア社員、女性社員が活躍できる環境づくりと運用に努めてまいりました。

インバウンド団体や国内旅行団体の集客につきましては、引き続き、取り組みを強化し、お客様の満足度向上に努めてまいりました。また、当社の店舗を選んでご来店いただくために、WEB、SNS、テレビといった各種メディアを活用した販促活動を推進いたしました。

店舗開発としましては、新規出店を慎重に検討した結果、飲食事業で直営店1店舗を出店し、お客様に居心地の良い空間を提供するため、継続して店舗のブラッシュアップ（改装、業態転換、修繕等）をすすめてまいりました。

コントラクト事業(*2)におきましては、引き続き、安全・安心な「また行きたくなる店舗づくり」を心掛けて行動し、店舗数の拡大にも努めてまいりました。

これらにより、当社の直営店既存店売上高は、前年同期比0.6%減となり、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は6,647百万円（前年同期比4.4%増）となりました。

営業利益は96百万円（前年同期比5.0%増）となり、原価及び経費のコントロールにより増益を確保することができました。経常利益は、持分法による投資損失8百万円の計上（前年同期は11百万円の投資利益の計上）により95百万円（前年同期比16.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は67百万円（前年同期比5.8%増）となりました。

*1 当社グループでは、「人材」ではなく、「人財」と表記しております。

*2 防衛省、法務省所管の厚生施設内における飲食店の運営等

当第1四半期連結累計期間の店舗数につきましては、以下のとおりであります。

	前期末	新規出店	閉店	F C 転換数	直営 転換数	第1 四半期末
直営店	202	1	—	—	7	210
コントラクト店	90	—	—	—	—	90
全直営店計	292	1	—	—	7	300
F C店	140	—	△ 6	—	△ 7	127
当社合計	432	1	△ 6	—	—	427

(連結子会社)

(株)紅フーズ コーポレーション	19	—	—	—	—	19
めっちゃ魚が 好き(株)	9	—	—	—	—	9
当社グループ合計	460	1	△ 6	—	—	455

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比べて233百万円減少し、15,641百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金が195百万円増加した一方で、売掛金が117百万円、のれんが115百万円、未収入金が122百万円減少したこと等によります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比べて217百万円減少し、9,252百万円となりました。この主な要因は、長短前受収益が141百万円、未払消費税等が138百万円増加した一方で、買掛金が168百万円、未払金が157百万円、賞与引当金が80百万円、長期借入金が77百万円減少したこと等によります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比べて15百万円減少し、6,388百万円となりました。この主な要因は、当第1四半期連結累計期間の業績により利益剰余金が67百万円増加した一方で、配当金の支払いが96百万円あったこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の業績予想につきましては、2026年5月14日に公表いたしました予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,401,594	5,596,850
売掛金	656,254	538,504
F C 債権	213,064	180,204
商品	287,067	292,835
貯蔵品	4,796	5,418
その他	667,839	541,963
貸倒引当金	△134,230	△132,381
流動資産合計	7,096,387	7,023,395
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,673,529	1,680,719
その他（純額）	376,696	340,972
有形固定資産合計	2,050,226	2,021,692
無形固定資産		
のれん	1,765,745	1,649,807
その他	118,953	116,880
無形固定資産合計	1,884,698	1,766,688
投資その他の資産		
差入保証金	3,174,703	3,144,780
その他	1,716,879	1,732,853
貸倒引当金	△48,286	△48,056
投資その他の資産合計	4,843,296	4,829,577
固定資産合計	8,778,221	8,617,957
資産合計	15,874,608	15,641,353

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	989,398	820,758
F C 債務	199,491	184,571
短期借入金	2,300,000	2,300,000
1年内返済予定の長期借入金	1,310,268	1,310,268
未払法人税等	46,100	12,311
賞与引当金	161,855	81,073
店舗閉鎖損失引当金	9,104	8,167
資産除去債務	15,400	11,174
その他	1,323,890	1,513,898
流動負債合計	6,355,509	6,242,223
固定負債		
長期借入金	1,289,440	1,211,873
退職給付に係る負債	240,438	241,009
資産除去債務	743,755	743,984
その他	841,417	813,711
固定負債合計	3,115,051	3,010,578
負債合計	9,470,560	9,252,801
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	4,197,792	4,197,792
利益剰余金	2,132,138	2,102,900
自己株式	△101,152	△101,152
株主資本合計	6,328,778	6,299,540
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	67,803	83,410
退職給付に係る調整累計額	7,466	5,599
その他の包括利益累計額合計	75,269	89,010
純資産合計	6,404,048	6,388,551
負債純資産合計	15,874,608	15,641,353

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	6,367,918	6,647,298
売上原価	1,992,246	2,091,870
売上総利益	4,375,671	4,555,428
販売費及び一般管理費	4,283,553	4,458,728
営業利益	92,118	96,700
営業外収益		
受取利息	297	230
受取配当金	3,130	3,950
持分法による投資利益	11,381	—
受取手数料	17,688	16,530
その他	5,968	7,866
営業外収益合計	38,467	28,577
営業外費用		
支払利息	16,100	19,906
持分法による投資損失	—	8,443
その他	485	1,342
営業外費用合計	16,585	29,692
経常利益	113,999	95,585
特別利益		
固定資産売却益	—	1,000
受取保険金	31,364	—
特別利益合計	31,364	1,000
特別損失		
減損損失	43,841	17,492
店舗閉鎖損失引当金繰入額	13,476	—
その他	13,594	—
特別損失合計	70,912	17,492
税金等調整前四半期純利益	74,452	79,092
法人税、住民税及び事業税	11,823	11,685
法人税等調整額	△914	180
法人税等合計	10,909	11,865
四半期純利益	63,542	67,227
親会社株主に帰属する四半期純利益	63,542	67,227

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	63,542	67,227
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	31,679	15,607
退職給付に係る調整額	158	△1,866
その他の包括利益合計	31,837	13,741
四半期包括利益	95,379	80,968
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	95,379	80,968

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、居酒屋を中心とした飲食事業の他にセグメントとして、コントラクト事業がありますが、飲食事業の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいと考えられることから、セグメント情報の記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	74,650千円	89,757千円
のれんの償却額	115,937千円	115,937千円